

令和7年度 学校努力点研究

研究のテーマ

レッツチャレンジ！一歩前へ ～目標をもって学習し、成長する児童の育成～

1 研究のねらい

本校では、「ナゴヤ学びのコンパス」が掲げる「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」姿を実現するために、振り返り活動を重視した実践を行ってきた。様々な教科・活動で振り返りを積み重ねることで「できた！」「次もがんばろう！」といった、自分の成長を感じ、自分らしく学ぶことができる児童が育ってきた。

しかし、「できるようにになりたい」という思いをもってはいるものの、学習内容を理解することが難しいなどの理由で、算数の学習に対して抵抗感を感じている児童の姿も見られた。

そこで今年度は、算数の学習で児童の「チャレンジ」を大事にすることをテーマに実践を行う。「ナゴヤ学びのコンパス」では、「『自分なりにチャレンジする』ことができる子どもとは、苦手なことであっても、自分なりの関わり方や追及の仕方で行き届いていくことができる子ども」と位置付けられている。児童が安心してチャレンジできるような環境を整えることで、苦手なことでも目標をもち、自分なりの追及の仕方で行き届ける児童を育成したい。

2 実践の方法

○ 授業の中で児童一人一人が目標を決め、活動する時間を設定する。教師は児童のチャレンジに伴走し、学習状況を見取りながら、学習環境の整備、個別支援、指導を行う。

○ 授業の具体例

